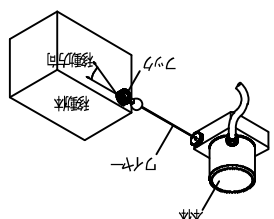


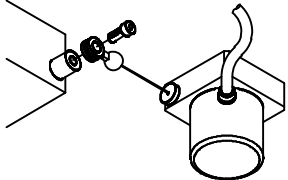
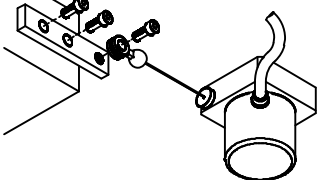
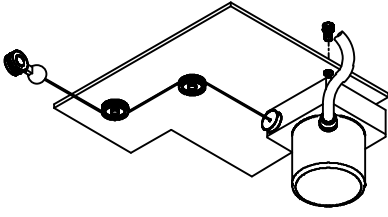
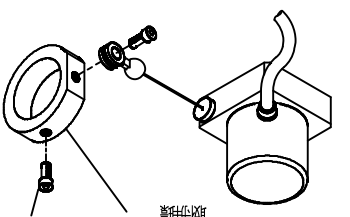
仕様

項目	DS-025	DX-025
ワイヤー有効長	250mm	
出力V/L数	10V/L/mm	25V/L/mm
最大検出速度	15m/min	
ワイヤー張力	0.39~0.78N(40~80gf)	
出力相	矩形波 A、B相	
出力信号形態	オープンコレクター出力	
電源電圧	DC4.5~13V	
消費電流	40mA max (無負荷時)	
使用温度範囲	-10℃~+45℃	
本体保存温度	-20℃~+80℃	
質量	60g	
接続コード長	2m (先端未処理)	
往復耐久回数	100万回以上	
距離精度(20℃)	±0.2/250mm	
復元精度(20℃)	±0.05mm	
耐振動	55Hz 複振幅1.5mm X、Y、Z方向 各2H	
耐衝撃	耐久490m/s (約50G) X、Y、Z方向 各3回	
保護構造	IP40	
伝送距離	15m以下	

取り付け手順

1. 取り付け例を参照して、必要に応じて取り付け板を利用してください。
2. 本体を固定します。
3. フック側は、相手の移動体を本体に近づけてからフックを引っ張り、移動体に取付けます。
- 

取り付け例

- 
[例1] 本体とフック取り付け位置が、移動方向の直線上にあるようにセットしてください。
- 
[例2] ワイヤー有効長を超える場合
- 
[例3] ワイヤーがまっすぐ引き出せない場合
- 
[例4] 移動体が円形状の場合

重要

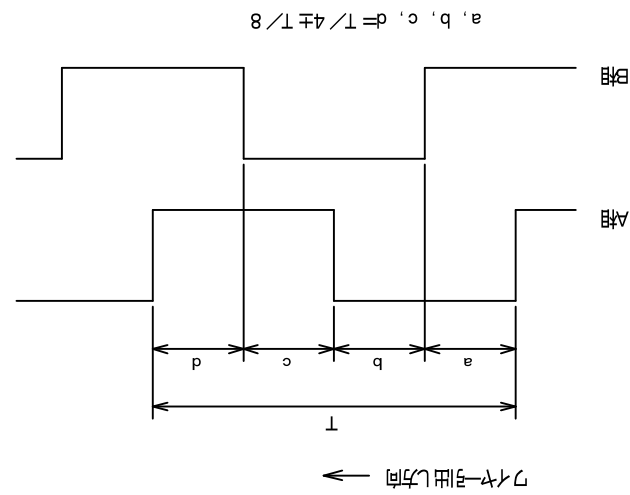
- ・プーリー（滑車）を使用する際は、プーリーを外径φ30mm以上としてスムーズに回転するようにセットしてください。

重要

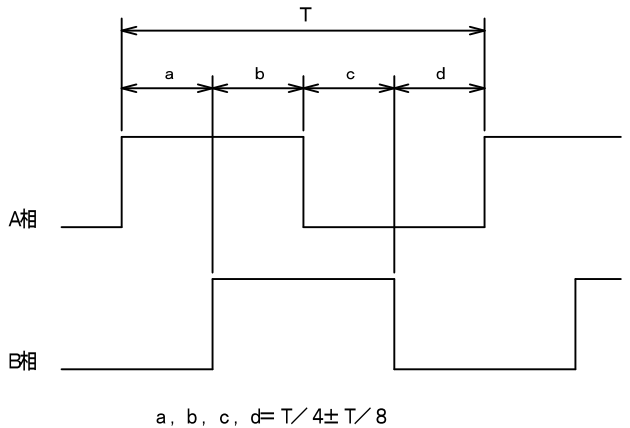
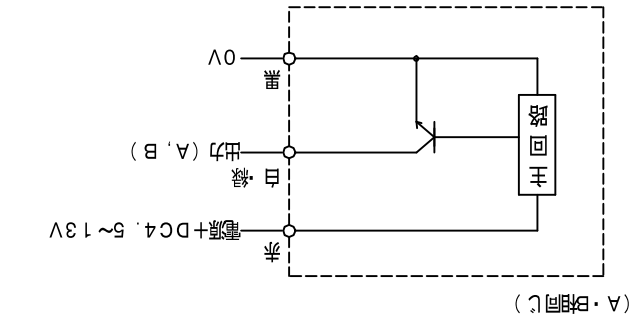
- ・本体とフック取り付け位置が、移動方向の直線上にあるようにセットしてください。
- ・ワイヤーの引き出し方向は、ワイヤーの出口面に対して垂直となるようにセットしてください。
- ・ワイヤーの引き出し量が、有効長さ以内であることを確認してください。

注意

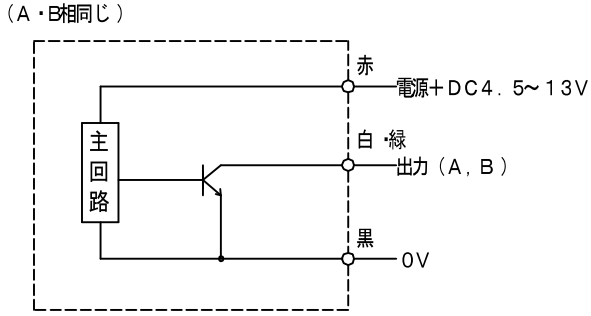
- ・ワイヤー引き出しの際は、リニアエンコーダ本体の故障の原因になりますので、ワイヤーの突き放しを行わないようにしてください。



出力波形

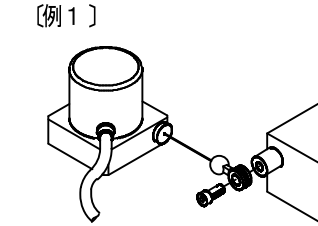
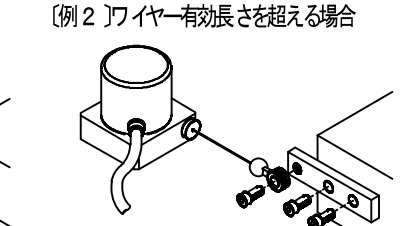


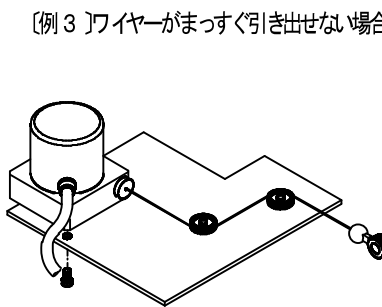
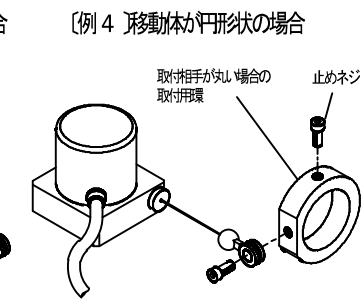
出力波形



出力回路図

取り付け例

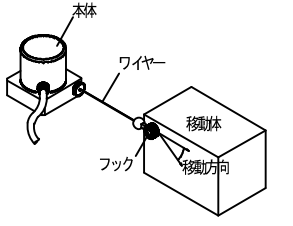
- 
[例1]
- 
[例2] ワイヤー有効長を超える場合

- 
[例3] ワイヤーがまっすぐ引き出せない場合
- 
[例4] 移動体が円形状の場合

重要

- ・プーリー（滑車）を使用する際は、プーリーを外径φ30mm以上としてスムーズに回転するようにセットしてください。

取り付け手順

1. 取り付け例を参照して、必要に応じて取り付け板を利用してください。
2. 本体を固定します。
3. フック側は、相手の移動体を本体に近づけてからフックを引っ張り、移動体に取付けます。
- 

重要

- ・本体とフック取り付け位置が、移動方向の直線上にあるようにセットしてください。
- ・ワイヤーの引き出し方向は、ワイヤーの出口面に対して垂直となるようにセットしてください。
- ・ワイヤーの引き出し量が、有効長さ以内であることを確認してください。

注意

- ・ワイヤー引き出しの際は、リニアエンコーダ本体の故障の原因になりますので、ワイヤーの突き放しを行わないようにしてください。

仕様

項目	DS-025	DX-025
ワイヤー有効長	250mm	
出力V/L数	10V/L/mm	25V/L/mm
最大検出速度	15m/min	
ワイヤー張力	0.29~0.58N(30~60gf)	
出力相	矩形波 A、B相	
出力信号形態	オープンコレクター出力	
出力信号レベル	残留電圧0.7V以下・シンク電流30mA max	
電源電圧	DC4.5~13V	
消費電流	40mA max (無負荷時)	
使用温度範囲	0℃~+50℃	
本体保存温度	-20℃~+80℃	
質量	60g	
接続コード長	2m (先端未処理)	
往復耐久回数	100万回以上	
距離精度(20℃)	±0.2/250mm	
復元精度(20℃)	±0.05mm	
耐振動	55Hz 複振幅1.5mm X、Y、Z方向 各2H	
耐衝撃	耐久490m/s (約50G) X、Y、Z方向 各3回	
保護構造	IP40	
伝送距離	15m以下	